

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書  
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		2019年 12月 2日
派遣プログラム Name of Program	✓HUSA    □USAC    □UMAP	
留学先大学 Host University	Auckland (国名/Country : New Zealand )	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	Certificate of Proficiency Exchange Programme / Faculty of Arts	
在籍身分 Status at Host University	Exchange student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2019年 2月 21日 ~ 2019年 11月 27日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)	

### 1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	文化の入り混じるオークランドという都市で学習すること、高い水準の教育を受けられるオークランド大学で学習することに意義を感じたから。
留学準備を始めた時期（応募する 何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	応募する約3か月前（IELTSの対策等）
事前準備について（どのような準備 をしたか、しておけばよかったか） Preparation Completed Prior to Study Abroad	英語で授業を受け、ノートテイクをするという実践的な経験がかなり必要かと感じた。あとは、英語でのコミュニケーションをあらかじめ日本で学んでおくべきだったと感じた。

### 2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : Student	
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : New Zealand Immigration	
	提出書類 / Required Documents : パスポート、成績証明書、Admission	
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 約2週間	
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	エアチケットの手配・大学寮の手配（10月頃アプライ）	
出国年月日 / Date of Departure	2019年 2月 20日 (YYYY/MM/DD)	
経路（往路） / Route (Outward)	KIX-AUC	
現地での出迎え Pick-up Service	✓有/Yes (✓大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) □無/No	
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	✓有/Yes □無/No	有の場合 期間/Period : 2019/ 2/ 25 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation General things to care about the life in New Zealand and support system in University
帰国年月日 / Date of Return	2019年 11月 27日 (YYYY/MM/DD)	
経路（復路） / Route (Return)	AUC-KIX	

### 3. 留学費用について / Expenses

内訳額 / Expenses	総額		1,700,000	円/yen
	Total Amount			
内訳 Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)		120,000	円/yen
	ビザ申請手数料 / Visa Application Charge		0	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge		0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance		100,000	円/yen
	教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)		10,000	円/yen
	宿舍費（住居費） / Accommodation Fee		800,000	円/yen
	光熱費 / Utility Cost		Included in Accom.	円/yen
	食費 / Meal Cost		400,000	円/yen
	通信費（インターネット・携帯） / Internet, Phone		54,000	円/yen
	交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)		0	円/yen
	交際費 / Social Expenses		200,000	円/yen
	その他 / Others ( 費)			円/yen
( 費)			円/yen	
( 費)			円/yen	

### 4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	前期は文化 Cultural studies を軸に、Sociology、English、Anthropology を履修し、後期は Race/Ethnicity をテーマに Education, Sociology, linguistics を履修した。一コマ 50 分で、履修形態としては、一つのペーパー(科目)に Lecture と Tutorial (理系科目であれば Labo も) がセットになっている。Tutorial は少人数で、チューターやほかの学生と話し合いながら授業の準備や不明点を洗っていく、という形態をとっている。週に 4 (科目) × 3(2 Lectures + 1 tutorial) コマの授業が行われる。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input type="checkbox"/> 有/Yes <input checked="" type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	基礎知識を固めてからレクチャーに臨まなければ何も得られない。英語に苦勞するのならばなおさらのことで、聞くので精一杯になってしまうので、予習と予備知識は拘った方がよい。科目を四つとると忙しいので、自分は三つにして、空いた時間にルームメイトやフリーの英語教室へ通っていた。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	多くの留学生が同じことを書きそうな気もするが、教授がオープンなので、分からないことは質問しに行く姿勢を持った方がよい。日本とは逆に、授業に対する強制力（コメントシートとか）は全く無く、これは端的に、どれだけ主体的に授業に参加するかが肝要だということを示していると言える。Lecture Recording という夢のようなシステムがあるが、甘んじないで学校に行かなければならない。



(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc. )
学内と寮のwi-fiに不便を感じたことはない。施設に関しては何となく足りないところがたくさんある気がする。食堂とかあればいいのと思う。日本に比べて自習スペースが非常に多く、学習面のサポートをする施設は非常に充実していると言える。
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)
Let's talk という現地学生、international の生徒が英語を練習するワークショップや、教会でのフリーランチ、JAM+という日本人と現地学生の集まりがあり、友人を作りやすい環境にあり、自分次第で非常に多くの交流ができる魅力がある。Meetup というアプリでは一般の人と英語会話の練習をするセッションを検索できたりするので活用するといいかも。
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners
Swear word・slang や英語のフレーズを意味の解らないまま使わないこと。 分からない・理解できないことは分からないとしっかり主張すること。
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?
特に思いつかない
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

<b>6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad</b>	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2021 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2020 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason: )
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	卒業論文と教職実践演習を控えている。大学院への進学を検討中。
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	留学中に学ぶことと日本で学ぶことを関連づけることも必要だと思うが、同時に留学を機に全く新しいことを学ぶのも一興かと思う。 私は教育実習と並行して留学の寮の申し込みなどをしていたので、あまり余裕がなかったように思う。予定を立てて計画的に留学を設計するとよいかと思う。

<b>8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad</b>
海外に行こうとすることだけで結構すごいことなんだな、と周りの留学生を見ていて思いました。志を高く持って頑張ってください。

## 9. 自由記述 (日本語・1,200 字程度) / Feedback (English about 600 words)

留学は、私の人生にとって非常な分水嶺になったと感じています。留学によって、自分の中での物事の断じ方などが、磨かれたように思います。日本の環境に育てられた私は、ニュージーランドにある多様な人々の生き方を見て、関わって、自分の中にたくさんの視点・ものの見方が息づいたと感じています。

最も印象に残っていることとして順序付けをするのが難しいほど、色々なことがありました。具体的ではありませんが、一つ上げるとするならば、最初の一か月の日本とニュージーランドとのはっきりした違いに驚き、順応するための期間が非常に鮮明に覚えていることの一つと言えます。大学の授業は90分一コマから50分になり、授業の形式はtutorialなどという、非常に対話的なクラスもあり、英語の会話のリズムや現地の人々が使うスラングなども少しずつ覚えながら、自分が新しいスタイルを取り込んで適応していくことに自覚的になれる時間がありました。日本に留まっていたら体験できないものだろうと思います。自己の変容然り、留学は外部がガラッと変化する分、自分というものに焦点をあて、自分はどのような人間で、どういった風に生き、生かされてきたのかということを考えるのにはこの上ない機会だと思います。

留学の収穫としては、先にも述べましたが、自分を相対化してみることで、他者や現象を以前より相対化してみることができるようになり、一つの原則や言説が絶対的に正しいという偏差の存在や、racism や sexism といった一元的な差別へ立ち向かう心構えができたことであると感じます。たとえば、日本で当たり前感じていたような教育システム、医療、コミュニケーションや道徳に関する価値観など、根本的なところからの違いを感じ、違いを自覚する受容体が育まれました。加えて語学も、もちろん収穫の一つです。留学初期は授業についていくのがやっとという状態で、コミュニケーションも不安でしたが、後期になり教授と一対一で話や質問ができるようになり、友達と深いコミュニケーションをとれるようになりました。その一つの要因は、club に所属したことだと思います。アルティメットという、ディスクを使ったスポーツのクラブに入り、そこで現地の友達や、チームメイトとたくさんの出会いがありました。彼らとのコミュニケーションの中で、自分の英語の出来によって自分の動き方、果てはチームの勝敗にまでかかわると思うと、相手を理解することに使命感をより一層感じるようになりました。全国大会にも二度出場でき、非常に貴重な仲間との時間を過ごすことができたと思います。

今後は、留学に行こうとしている人のサポートや、情報提供など、そして積極的に国際交流も行っていきたいと思っています。広島大学で自分にできることを見つけて、自分自身を共有し、次なる交換留学生たちの良き土壌となれるように努めていく所存です。





注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。/ This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.